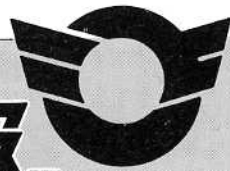


保育園からこんにちは

もうすぐ一年生

まつおかあやちゃん(6歳・陰地)

越原保育園



No.338 4/15

広報 ひがししかわ

発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
☎05747)8-3111・内線26 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷株式会社

百年の村の、春の訪れ

春の女神と呼ばれるギフチョウが、東白川村にも育っていることを知っていますか？
春の花の王者、小谷の桜を復活させようと、越原区民総出で手入れが行われました。
立村百年の村の春の訪れは、いつもより早くやって来たようです。



五加柏本にて



3月19日、150本の桜苗が植え付けられ、新しい時を刻み始めました。

人回りの動き

—3月末住民登録人口から—
 世帯数……………907世帯
 人口……………3,527人
 転入……………16人
 転出……………52人
 出生……………2人
 死亡……………2人
 先月と比較して36人減
 昨年と同月と比較して33人減

立村100年を契機として、新しい100年にチャレンジする大型予算

人に健康を、産業に力を、暮らしに潤いを、キメ細かな気配り予算

21世紀へ、夢を広げるふるさとづくり予算

歴史を刻む積極予算

平成元年度



力強い産業を育てるために

蚤が一枚一枚皮を脱ぎながら成長するように私たちの村はいま、脱皮しようとしています。

大きな理由は、今から七年前に着手された県営畑地帯総合合土改良事業(略称「畑総」)が終盤を迎え、中でも「面工事」と呼ばれる農地の整備工事が、多くの人々の努力を受け継ぎながら、今年度で終了しようとしていることです。

万円という大型プロジェクトで、段々の石垣と細い道の村の風景は大きく変わりました。さて、村の風景ばかりでなくもっともつと変らなければならぬことがあります。しかも、成長しながら変わる、その「脱皮」のために、平成元年度予算の第一の目的は、力強い産業づくりです。

「句読点」 文の途中や、文の切れ目につける点。(新国語辞典より) 平成元年度を迎えた東白川村は、まさに句読点を打つ時にあたります。村が生れて百年、今まで綴ってきた長い物語りを、新しい局面に展開させ、二十一世紀へ語り継いでいかなければなりません。その重要な句読点を画する村の平成元年度予算は、一般会計が十七億八千万円、前年に比べて十八パーセント増と、村始まって以来の大型予算になりました。これに国民健康保険、老人保険、有線放送、分収造林、東白川病院の五特別会計を加えた総予算は二十八億七千万円、前年より十一・七パーセント増と、二十一世紀への足がかりを築こうとする、新しい百年への挑戦予算です。

費七千三百万円余が含まれていますが、これは始めに述べた畑総事業で整備された水田の、耕作と米のみすり調整作業を機械化し、労働力を省くことを目的とした事業です。農協が主体となって行われるこの事業によって、農業の労働力が、夏秋トマト栽培などの有利な分野への転換や、他産業での所得の確保につながることを期待されます。



陰地集落の整備を打合せ(村長室)



立村100年の

一般会計	17億8千万円
特別会計	8億2千170万円
合計	26億170万円



プレカッタ工場が 期待を集めている

私たちの村の最大の資源ともいふべき「東濃ひのき」は、素材丸太から柱へ、そして住宅へと、加工の段階を経るに従って、ねうちが高まっています。

せっかくの資源を、少しでも価値を高めて売る。……これが「脱皮」の二つめです。

村が誘致した企業、岐阜部品本社工場のすぐ隣りに、プレカッタ工場が誕生しました。

プレカッタとは、木造住宅の柱や土台や桁を、コンピューター制御で自動加工すること、大工さんや製材経営の皆さんが「東濃ひのき白川プレカッタ協同組合」をつくり、昭和六十三年度に建物を完成しました。

今年度ははいよいよプレカッタ機械が入ります。

そのための補助費一億六千七百四十万円で、関係の最大の目玉

となっており、この工場の操業開始で、「東白川の家」の加工精度は大巾に向上し、工期の短縮とあいまって、もっと大きな産業へと飛躍することはまちがないでしょう。

すでに若い従業員スタッフも揃い、名古屋近郊の建築業者からも注文があつて、期待にふくらんでいます。

林道の建設は、山林が村の面積の九十一パーセントを占める私たちの村にとっては、どうしても必要な事業です。

今年度は五路線で三千四百メートルの開設改良が計画されており、その費用はおよそ二億円です。

がんばれ！むらおこし

村の商工業の振興は、商工会が中心になって進めていますが一昨年からの取り組みで来た「むらおこし事業」は、あまごの加工品や可愛いクッキーなどの商品を生み出しました。

今年度は販路を拡大し、もう一段飛躍するために、むらおこし産品販路開拓支援や、商工設備資金利子補助、地場産業振興対策費など八百四十三万円を予算化しました。

また木造建築組合の要望に応じて、引続き産直住宅「東白川の家」の受注拡大対策費を六十

棟分予定して
います。

これら産業
づくり
の分野
でのチ



つちのこクッキー作りに大忙し

ヤレンジ予算のひとつは、有機農法の推進で、農業の新しい分野へ挑戦するための第一歩です。

林業関係の新規事業は、今まで見捨てられてきた松林の整備を進め、天然林を見直そうという「天然林育成」の事業で、林業者の負担を大巾に軽減するシステムとなっています。

商工関係ではふるさと会活動を支援し、新しい村の顔づくりに挑戦します。

私たちの暮らしを支える産業づくりの課題は、農林業の単純な生産だけに頼ることの多かつた仕組みを農林業を否定するのではなくその資源をもっと活かすねうちを高める方向に導いて、力を強くすることです。

そのために、この関係の予算は、前年より三十一パーセント増額し、積極的に取組んでいきます。(次ページへつづく)





今年度舗装される基幹農道（神付）

道路舗装をいっきに十五キロメートル

産業を振興するにも、暮らして楽しむにも、道路が整備されるのが条件となりますが、村内の道路延長が非常に多い私たちの村では、いつまでも尽きることのないこの課題のために、今年度はおよそ二億六千万円を投資します。

最も重要な道である県道白川加子母線は五加バイパスが引続き施工され、今年度中には最初の橋が完成、対岸と宮代で道路工事が行われるので、これに関連して宮代の現在の県道から、新しくできるバイパスを結ぶ道

精一杯道づくり

路を開設する計画です。村民の皆さんから最も要望の高い舗装は、畑仕事業の基幹農道と、支線を合わせて一万メートル以上が一気に舗装されます。

これは村が負担金を出して県に事業を実施してもらおう分ですが、これに合わせて村の事業として十一路線四千二百二十メートルの舗装工事を行いますので、今年度の舗装延長は十五キロメートル近くに達し一年間に行われる道路舗装としては新記録となります。

また中通、神付、加舎尾、枋山の四地区で各家庭への引込道路などの生活道二十八路線、千二百五十七メートルの舗装も行われ、村内の道路事情は飛躍的に良くなるものと思われま

平成元年度舗装路線

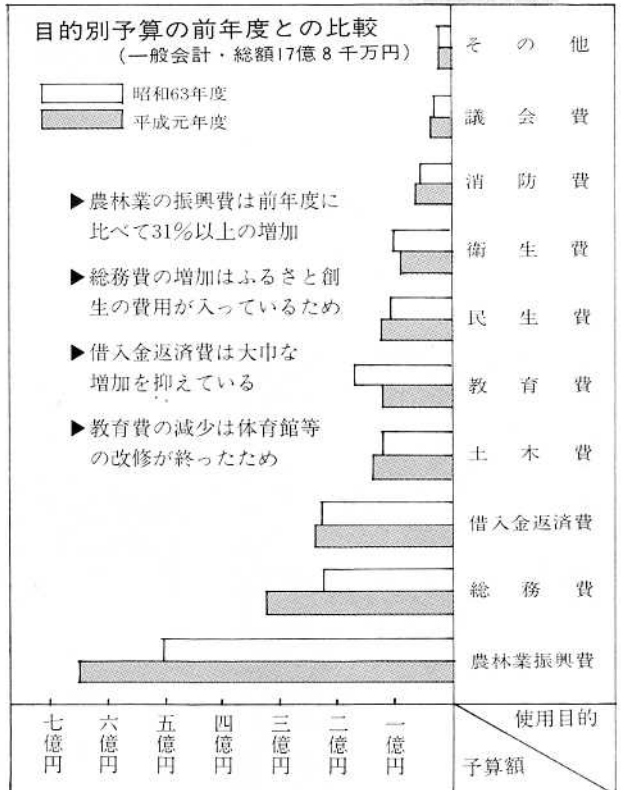
路線名	集落
西洞本線	洞向日
向日本線	向日
神土角線	大明神
垂洞中線	黒神
新田道線	黒神中
中黒川向線	大明神
川垂洞山線	黒
山黒沼線	親田
富田北線	親田
小笹田線	加舎尾
外洞谷線	加舎尾
中大畑木線	下親田
一向山農道	平越

厄年も、検診で乗り切って元氣印

併せて東白川病院前の改良実施を強く要望しています。

今年度、立村百年を記念してスタートする新規事業に「厄年検診」があります。

四十代は体力、健康の曲り角と言われますが、これからまだまだがんばらなければならぬ年代です。



- ▶ 農林業の振興費は前年度に比べて31%以上の増加
- ▶ 総務費の増加はふるさと創生の費用が入っているため
- ▶ 借入金返済費は大巾な増加を抑えている
- ▶ 教育費の減少は体育館等の改修が終ったため

そこで平成元年度中に満四十歳の誕生日を迎えられる、およそ五十人を対象に、マイクروبアスで岐阜市の県健康院を訪れ、血液検査など十数項目の総合検診を受けていただくというもので、受診料二万五千円のうちの村が一万五千円を補助します。

同じ年同志が、一日バス旅行するような気やすさで、楽しくおはらいでも受けて来るようなプランはどうか...と、担当者は頭をしばって計画してい



の虫菌としつけを学ぶ

ますので五月中には該当の皆さんに連絡があると思います。また成人病検診時の血液検査を三年毎の実施から毎年実施に改め、すべての検診データを電算機に入力して、健康管理数値のコンピューター化をすすめます。これらの費用を含めて、健康を守るために使われる予算は一般会計で二千三百七十万円余と東白川病院特別会計が三億六千四百六十五万二千円、国民健康保険、老人保健の特別会計が合わせて四億三千四百万円です。

あしたの明日も考えながら



人づくりが村づくり

事業は人であるといわれます。また組織は人であるともいわれます。

この言葉を借りるならば、「村は人である」「人づくりが村づくりの根本である」といえるでしょう。

立村百年を記念す



る事業として、「人づくり研修事業」を今年度からスタートさせたいと思います。

木造住宅を振興させるにも、大工さんが不足している、規模の小さい村内企業では人材教育ができない、などの悩みがありますが、何らかの形でこういう悩みに答え、村を担う人づくりを進めたいと思いますが、その具体的な内容は今後関係の皆さんと相談して組立てます。

もともと人づくりとは、人が生れてから一生涯、尽きることのない努力の継続をいうものですが、社会人となってからの自己研修は、人と人とのふれあいの中で進められることが大切です。

公民館図書を中心とした読書講座や、青年の国内研修、公民館講座の開設、少年ふるさと教室の開催など、キメのこまかい

と保存にも着手することとしました。

これら社会教育と、学校教育の人づくり予算は合わせて五億四千二百三十万円にのぼり、住民一人あたり十五万二千円余となります。

夢を盛りたい これからのふるさと

村の財政でも個人の財政でもそれを支えるのは収入ですが、その収入源(財源)の基本は、村の場合は税金です。

村民の皆さんから直接納めてもらう税金は岐阜部品の誘致や、地場産業の伸びで増加が見込まれます。

そのほか、たばこ税などを加えて村税全体で六パーセント増の一億六千八百五十二万円を予算化しましたが、一般会計の歳出必要額十七億八千万円の一割弱であります。

村有林伐採による収入が千七百万円、林道工事などの受益者負担金が六千万円余、その



村民ふれあいつなひき大会

他繰越金などを合せた自己財源(自分で

調達した収入)は予算全体の二十パーセントです。

残りの八十パーセントは、国から交付される交付税や補助金、借入金などの依存財源(国県に依存する収入)で、私たちが山村自治体の運営の厳しさは変りません。

その中で、今年度はふるさと創生のために交付された一億円比率が大きく、この使途は四月から五月にかけて、多くの皆



家庭教育学級で乳幼児

さんと相談して具体化します。また、村民の皆さんの多くも要望を満たすためには、どうしても制度事業と呼ばれる国や県の補助事業の適用を受けることが必要で、しかもこれらの事業を計画的に行わなければなりません。

そのために、今年度前半をめぐりに、村の総合計画を見直し、二十一世紀をのぞむビジョンをつくりたいと思います。そしてこの計画の中に、新しい百年の夢を盛り込みたいものです。

財源別収入の前年との比較

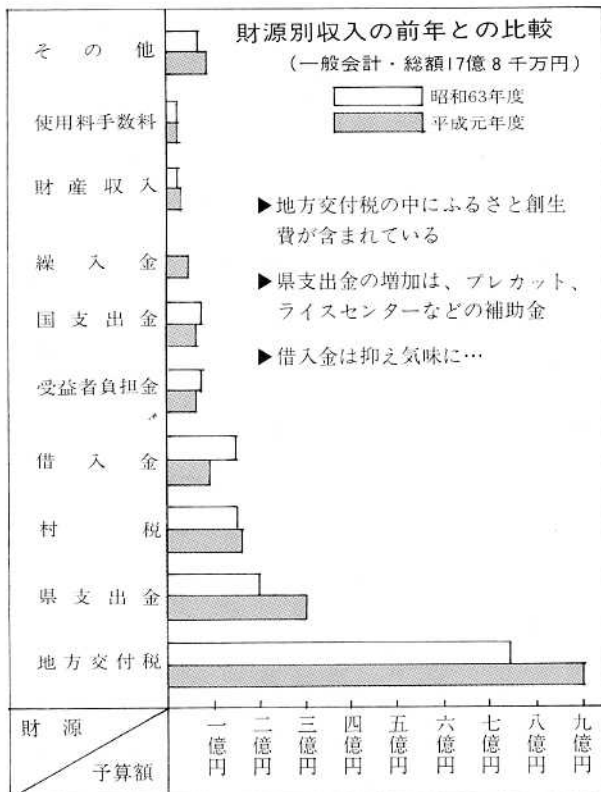
(一般会計・総額17億8千万円)

昭和63年度
平成元年度

▶ 地方交付税の中にふるさと創生費が含まれている

▶ 県支出金の増加は、プレカット、ライスセンターなどの補助金

▶ 借入金は抑え気味に…



一年間ごくりうさまです

平成元年度の各種団体長や役員などが決まり、この四月から皆さんの代表として、また世話役として、ご苦勞を願うことになりました。

今後、村づくりの推進役として活躍いただく新年度の役員のかたがたをご紹介します。

〔敬称略〕

☑事務囑託員組長
 ◇神土 ▼大口ー今井正道
 平ー村雲久夫▼下親田ー安江正徳▼上親田ー古田忠▼中通ー村

井戸鉄夫
 ◇P T A
 ◇小学校 ▼会長ー安江光昭

各団体役員

〔上親田〕▼副会長ー安江計幸
 (下親田)・安江正孝(陰地)
 ◇中学校 ▼会長ー安江啓次
 (神付)▼副会長ー今井照夫(大沢)・安江保(神付)

☑子供会

▼会長ー安江龍次(平)▼副会長ー服田順次(平)・今井俊郎(陰地)・栗本重秋(柏本)

☑高校生保護者会

▼会長ー梅田典孝(大沢)▼副会長ー大坪兼行(上親田)・林昇(大明神)

☑婦人会

▼会長ー田口りゑ(中谷)▼副会長ー古田ゆきゑ(大口)・桂川陽子(大明神)▼書記ー今井勝子(加倉尾)▼会計ー安倍富子(西洞)▼神土支部長ー早瀬智登子(上親田)▼越原支部長ー安江順子(日向)▼五加支部長ー熊崎津ゆ(下野)

☑青年団

▼団長ー田口輝久(中谷)▼副団長ー今井誠(平)・安江智樹(陰地)

小・中学校教職員異動

さようなら、いらっしやい

今年も四月一日付けて教職員の人事異動がありました。異動のあった皆さんは次のとおりです。

転出・退職された先生

〔東白川小学校〕(敬称略)
 ▼教頭 加藤稔(加茂郡坂祝小学校へ) ▼教諭 林貢(揖斐郡八幡小学校へ)・栗野千穂(揖斐郡池田中学校へ)・細江幸久(郡上郡那留小学校へ)・新井彰子(吉城郡山之村中学校へ)
 〔東白川中学校〕(敬称略)
 ▼校長 吉田雄平(退職) ▼教諭 山田統造(退職)・坪内康朗(山県郡高富中学校へ) ▼事務 守田美穂(退職)

転入された先生 (敬称略)

東白川小学校



教諭▶今井竜生 (25歳ー東白川村) 多治見市北陵中から
 教諭▶桂川光弘 (30歳ー東白川村) 美濃加茂市古井小から
 教頭▶林威 (46歳ー美濃加茂市) 美濃加茂市教委(課長補佐)から

東白川中学校



校長▶高橋正道 (52歳ー可見市) 御嵩町立御嵩小から
 講師▶村瀬真弓 (22歳ー東白川村) 臨時採用
 教諭▶青木真弓 (22歳ー高山市) 新採用



事務▶村雲美知子 (39歳ー東白川村) 臨時採用
 教諭▶伊藤敦子 (23歳ー可見市) 新採用
 教諭▶松本信弘 (30歳ー福井県武生市) 新採用
 教諭▶古田晃裕 (28歳ー東白川村) 養老町立東部中から

■戸籍の志 三月ー敬称略



誕生おめでとう
 ございます

〔曲坂〕安江 正和 美樹
 慶子 二女
 (平) 神戸 誠 凛
 玲子 (三男)



いつまでも
 おしあわせに

〔安江修次(平)〕
 鳥居 節子(愛知県刈谷市)



おくやみ
 申しあげます

村雲 三郎 64歳(中通)

■善意の寄付 ー敬称略

〔社会福祉指定寄付〕
 現金三万円ー安江貢(宮代)

〔東白川小学校へ〕
 和卓六台(なかよし広場) 六十三年度PTA

〔神土保育園へ〕
 植木一本・庭木せん定作業

指導者交替

村の農業振興に、また治安の維持にご活躍いただきました駐在県職員の異動が四月一日付で行われました。(敬称略)

● 転出
▽可知名重夫 農業改良普及員(加子母村駐在) ● 森昭明 養蚕業指導員(東濃養蚕指導所) ● 小野聡明 警察官(加茂警察署警備課) ● よろしくおねがいます: 転入

● 農業改良普及員 ●



井戸 誠二 (24歳-川辺町) 可茂農業改良普及所から

温和で、新進気鋭の普及員さんです。川辺町にお住まいです。

県職員異動

● 養蚕業指導員 ●



沢木 忠幸 (38歳-蛭川村) 中濃養蚕業指導所から

温厚でアイデア豊富な、中堅の指導員さんです。単身赴任されます。

● 駐在所警察官 ●



永井 祐吉 (36歳-美並村) 岐阜中警察署から

奥さん、子供さん二人の四大家族。新進気鋭の部長さんです。

まかせた

平成元年度の消防団入退団式が、三月二十六日総合運動場で行われ、退団者に記念品と感謝状が贈られ、入団者へは辞令が交付されました。退団者、入団者および新年度の幹部構成は次のとおりです。(敬称略)

● 退団された方 ●

▽分団長-安江健二・今井建夫・今井章・新田鈴一・桶光一

ゾ! 火の用心

▽副分団長-田口眞澄・田口和道・田口和志・内木眞佐勝・今井芳行 ● 部長-田口邦久・古田明雄・今井嗣尚・村雲正幸・今井光・安江寛・安江芳雄 ● 団員-笹俣雅一・安江全生

● 入団された方 ●

▽第一分団-村雲正則・青山昭広・安江好久・村雲展善・田口博男・古田辰夫・有田尚樹

● 新年度幹部構成 ●

▽分団長-中島潮巳 ● 副分団長-安江廣文・安江美好 ● 訓練

フレッシュマン登場

四月一日付で発令された人事により異動した職員および、退職者と新採用職員は次のとおりです。

(-)内は前所属課
● 総務課 行政係-田口光洋 (教育委員会)
● 建設課 林務係-山田久陸 (民生課)
● 民生課 母子センター-野村末子(病院) 神土保育園園長-山口八恵子(越原保育園) 同給食-稲垣民子(越原保育園) 越原保育園園長-古田美佐子(神土保育園) 同給食-安江啓子(神土保育園) 五加保育園-今井初美(神土保育園)

退 職
▽高井恵理子(企画課)

役場職員異動

● 新採用 ●



安江綾子(下親田) <農務課農務係>



田口浩由(大明神) <民生課住民係>



藤掛美智(日向) <企画課企画財政係>



鈴木のぞみ(白川町) <民生課保健婦>



安江良彦 <教育委員会 スクールバス>

消防団入退団式

部長-古田公平 ● ポンプ部長-今井武司 ● 予防部長-今井直美 ● 本部係長-安江清高 ● 第一分団長-安江正徳 ● 副分団長-河田正博・安江正孝 ● 第二分団長-野村孝 ● 副分団長-土井信行 ● 第三分団長-安江政春 ● 副分団長-熊沢政尚・安江正隆 ● ラッパ隊長-安江昌昭 ● 副隊長-古田俊之

一日-今井正三郎(西洞) 絵本十冊-今井克典(宮代) 学習図鑑二十冊-六十三年度保護者一同

〔越原保育園〕 紙芝居二セット-六十三年度卒園児一同 絵本十五冊-今井利隆(日向) 絵本十五冊-牧野秀男(大明神)

〔五加保育園〕 カラー 슬라이ド二組-六十三年度卒園児保護者一同 手押し掃除機一台-今井英信・今井直美

■ 工事入札結果の公表

①は入札期日 ②は落札金額 および落札業者

◇ 杉田屋橋修繕工事 ①三月八日 ②百五十万円・山田土建 棟

◇ 大明神基幹農道山留プロック積工事 ①三月二十八日 ②一千二百九十七万八千円・立保土木 働

■ 訂正とお詫び

二月号五ページ掲載の成人者名簿の中で、柏本今井昌子は昌子の誤りでしたのでお詫びして訂正します。

話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。
—連絡先 商工広報係 有線2155番—



アンケートに答える見学者

定着した釣り大会、今年は五加で

イベントを誘致して五加地区の活性化を図ろうという地元青年らの熱い呼び掛けで、三月十九日、第四回中部アマゴ釣り大会が五加運動場前えん堤下流七百坪の区間で三百疔を放流して開かれ、百八十人の太公望が参加しました。

年々広域的になりつつある大

会には、静岡・福井・愛知・三重をはじめ村外から百六十人の釣りファンが訪れ、地元釣りクラブ(十五名)による午前四時からの会場案内と、泊り込みで仕込みをした婦人ソフトクラブ員(九名)の豚汁サービスなどに舌鼓し、地元の温かい配慮ともてなしに心ゆくまで釣りを楽しんでいました。

- ▽大漁賞 一位—熊崎康二(八百九十八号東白川)・二位—後藤明香(付知町)・三位—木村進(一宮市)



親子連れの参加者が目立った



案内に立つ地元青年 午前4時

総力挙げて販売合戦

三月十八日から四日間、名古屋吹上ホールで開かれた「増改築フェア」に、東白川木造建築組合と商工会建築部会が共同出展し、「東白川の家」のPRとアンケート調査を実施しました。

会場には大手の住宅メーカーを含めた八十五業者が所狭しと宣伝合戦を繰り広げている中で、

組合組織の共同出展は本村のみ。村ぐるみで大手業者に対抗

して売り出そうという「安心住宅東白川の家」は人気も上々でアンケートにも五百十六人が回答。そのうち百三十二人が、「新築希望」と答えており、現在有望な増改築希望者を含めた二百十人に折衝中です。すでに成約が進んでいるところもあり、今後こうした受注拡大で村の住宅産業の発展が期待されます。

ぬくもり給食で一日ふれあい

「一人暮らしのお年寄りにふれあいの機会を」と、昨年からはめられた給食サービスが社会福祉協議会の事業として、三月六日に行われました。

今年の前回の反省を生かし、保存のきく献立と塩分を抑えた

- ▽大物賞 一位—飯田信夫(三十・三三瑞浪市)・二位—中村弘(愛知県)・三位—熊崎美穂(中津川) △ちびっこ大漁賞 一位—中野文孝(六百三十六号岐阜市)・二位—安江和隆(東白川)・三位—今井宏和(東白川) △ちびっこ大物賞 一位—小池普作(二十七号白川町)・二位—中野文孝(岐阜市)・三位—安江和隆(東白川)



おばあさん一年ぶりです! と、ほがらかに給食を届ける委員

歴史の実りを未来の糧に!

= 東白川村・立村百年 =

決定! 立村百年 キヤッチフレーズ

平成元年度は、東白川村が生まれて百年目の年にあたります。今年度一年間、あらゆる機会に使っていくキヤッチフレーズが上記のとおり決定しました。

今後、封筒・名刺などへの刷り込み。大会、総会などの看板・資料などへの書き込みにご協力をお願いします。

公共事業に役立つ 簡保・年金資金

簡易保険、郵便年金の加入者の皆さんから払い込まれる保険料や掛金の積立て金は、公共の利益になるよう、学校・道路・住宅など皆さんの身近かな分野へ融資され社会基盤の充実、明るく豊かな社会づくりに貢献しています。

村では、統合小学校の建設をはじめ、昭和六十三年度には、スクールバスの購入、農道丸屋前線、農道5号線改良舗装工事の財源に融資を受けています。



この四月一日以降に新たに集水桝を設置される方は役場へ補助金交付

日常生活において各家庭から排水される炊事、洗濯などの生活雑排水は、多くの家庭で未処理のまま河川に流されており、河川を汚す主な原因となっています。特にほ場整備を実施した地域では、各家庭での浄化対策が重要な課題となっています。そこで本村では、今年度新しく家庭雑排水対策として、雑排水を集水桝によって浄化させ河川に排水し、少しでも河川汚濁防止に役立てるため「家庭雑排水処理施設設置事業補助金交付規則」を設けました。

家庭排水処理に補助金を

おしらせ



林野火災を防ごう

国保保険料 毎月徴収に

申請書を提出してください。設置が完了したときは報告書に領収書を添えて提出いただければ一百万円の補助金が出ます。この沈殿槽は一基三万円で、役場窓口にてタイプの見本があります。ほかに工事費が必要です。詳しくは保健係へお尋ねください。

国民健康保険の保険料納付月は、いままで六回に分かれていましたが、一回に納めていただく保険料負担の軽減などから、この四月から毎月徴収になります。したがって、平成元年度の納期限は次のとおりですので、ご協力をお願いします。

- 1期 5月1日・7期 10月31日
- 2期 5月31日・8期 11月30日
- 3期 6月30日・9期 12月20日
- 4期 7月31日・10期 1月31日
- 5期 8月31日・11期 2月28日
- 6期 10月2日・12期 4月2日

(月末日が土曜日、日曜日の場合は金融機関が休みですので納期限は翌月の初日となります。)

募集します 青年海外協力隊

一月二十七日、本村初の青年海外協力隊員としてペルー共和国から帰国した神付村雲博さん(28)の手記(広報三月号掲載)に、感動を覚えた青年諸君も多かったことと思います。いままでは県内で百二十六人が派遣されており、これに続く意欲ある青年を国際協力事業団では募集しています。

春の募集要領

- ▽応募資格―満二十歳から原則として三十五歳までの男女
 - ▽応募期間―平成元年五月三十一日消印有効
 - ▽選考試験―第一次選考(筆記試験―作文・英語・技術)・第二次選考(面接・健康診断)
 - ▽派遣期間―二年間(海外手当等支給)
 - ▽派遣職種―農林水産・加工・保守操作・土木建築・保健衛生・教育文化・スポーツの各部門約百五十種
 - ▽募集説明会―五月十七日(木)岐阜市民会館別館・五月十八日(金)美濃加茂市民会館・五月十九日(土)岐阜市民会館別館。いずれも午後六時から。
- ▽詳細については、県総務部青

少年婦人課(電話〇五八二一七二一―一内線二一六五)か国際協力事業団中部支部(電話〇五二二二二一七七一〇三)までお問い合わせください。

「花トピア」 可児市にオープン

花の生産振興と生産者の技術習得、消費者の園芸相談の場として建設がすすめられてきた岐阜県花き総合指導センター「花トピア」が、県営可児公園地内

に四月二十九日オープンします。三万平方メートルの敷地内には、花栽培の研修室、展示室をはじめ、フラワーコミュニケーションホール、情報処理施設さらに花にちなんだイベントの開催の催事広場などがつくられています。オープンする四月二十九日と翌日の三十日には、オープンを祝って多彩な協賛行事や、鉢物の無料配布(二十九日)が予定されています。是非ご家族でご来場ください。なお、駐車場が狭いため可児市役所から一時間毎に無料送迎バスがでています。

全日本槌の子捕獲 大作戦 5月4, 5日

「槌の子で立村百年の夢おこし」：そんな目撃者の願いが実って全国に夢追人を募り「全日本槌の子捕獲大作戦」と銘打った立村百年記念イベントの第一弾を、五月四、五両日に実施することになりました。

「夢を売りますふるさとの、夢を売ります百万円」こんな呼び掛けで参加者を募った大作戦の企画は、村外会員とその同伴者のみが対象。一泊二日を基本に、Aコースが三、四両日、Bコースが四、五両日で同じ内容のイベントを二回繰り返す形で行います。

日程は、両コースとも第一日の午後四時に集合して、夕食を兼ねた前夜祭(村民センター)で未公開目撃談を発表。第二日は、午前八時から神土運動場で出陣式を行い安全祈願の神事と勇壮な檜茶太鼓を披露。午前九時から設定したプロックに分れて捜索を行い、終了後中学校体育館前広場で午後二時三十分まで大食会を行います。

大食会では、村の特産品をはじめ槌の子グッズ等の販売とバザーコーナーが催され、五介が登場して旬の味覚を取り合せた料理でもてなします。

今月の図書



何かしなきや男じゃない

西木 正明著

作者自身が、体験したすべてのことを赤裸々に綴った写真入りの楽しい読み物です。一人の男の生きざまを本音で語りかける。白夜の地で風と戯れ、ホワイトマウンテンというエスキモーの集落での桁はずれな魚釣り。無計画こそわが人生と、平和な日本で軟弱になっている精神と肉体に活を入れるために旅した一人の男の生き方は、読者の心へ変った男のロマンを教えてくれることでしょう。

春の道標 黒井 千次著

光と風によって、爽やかに描かれた戦後の青春譚。戦後すぐの青春は、こんなにも清潔で、プラトニックなものだった。いま若い世代に問う——懐しい父の青春、父の恋。青春特有の喜びと戸惑いと苦渋の入り混じったその姿を克明に記された恋愛小説です。

ふるさとのことば ④

★ ういこつちゃ
「ういこつちゃったな」と丁寧な言葉をさげられて、返す言葉にとまどうようなことがあります。「うい」は「愛い」と書きます。
昔使用された言葉で、現在では一般的に使用されなくなつた言葉に「愛き」といって、「つらいこと。ゆううつなこと」の意に使われたもの、「愛し」といって、「つらい。心苦しい。気が進まない」などの意に使われた言葉があります。万葉集にも「世の中を愛しとやさしと思へども……」という歌がありますし、「愛き

ことのはこの上に積もれかし……」という歌をご存じの方もあるとおもいます。
したがって、この「うい」という言葉は、遠い昔から伝えられて、今のように分かりやすい
表現にだんだん変わつてきたものと思ひます。
意味も幅が広く、さまざまに使われます。
親しい人が亡くなったことを聞いたときなどは「ありや、いんにやまあ、ういこつちゃつ



たなも」と驚きます。この場合の「ういこつちゃ」には「お気の毒だ」という意味を含んでいます。
病気で病院へ入院している人を見舞いました。病人は「ようきとくれた。いそがしからずういこつちゃつたのう」と言いました。これには「忙しいだろうに申し訳ない」という意味があります。
コップに水を入れて運んでい



「石は生きている」と語る河田さん

楽しかった旅の思い出をどう綴ろうか：ワクワクする一瞬でしょう。
西洞の河田勤市さん(85)の旅日記は、拾い集めた石です。「持ってくるのに一番簡単で、行つた場所を記憶できるもの」それが石だということ。三十六年間拾い集めた数は、二百八十六個。玄間先の陳列ケースに所狭しと並べられたその石の中から、昭和二十七年十一月二十二日熊本県の阿蘇山で手にした溶岩が旅行記念第一号。当時村では、たいへん珍重がら

私の一品

たび 石の旅日記

れて小学校の参観日に頼まれて貸したこともあるそうです。数ある中でも、「私の一品」と手にされた石が、日連上人の面影をしのぶ不思議な石。それは、「文永八年佐渡の妙宣寺へ配流された日連上人が、文永十一年二月十四日に鎌倉から赦免状がでて、三月十四日に日朗・日興上人を伴い乗船し直浦の津へ渡つた際の、船に乗つた日連上人の姿に似ている。石は人の顔が違ふように、場所に合つた顔をしているから楽しい」と河田さんは語る。
陳列ケースの上には、永平寺泰禅管長撰と記された「石徳五訓」が掲げられている。これも集め始めた石が取り持つた縁とか。
二十年間、村長を務められた河田さんのこのコレクションは立村百年を迎えた村の歴史が秘められているようです。
今では、お孫さんから贈られた思い出の石が、一つひとつ増え続けているそうです。

四月号からシリーズで

高価なものでなくても、その人にとっては人生の支えであり、あるときはその一生さえ支配するような「私の作品」お知らせ下さい。

私の作品



▲ 病院前から橋場を望む(油絵)
田口和彦さん(中通)



▲ 松(廃物利用アイデア作品)
神戸猶子さん(平)

安江宏之くん(一歳)宮代
道雄さん・千佐子さん(長男)



すくすく育て

大江川温泉(水彩画)
新田義男さん(加舎尾)



短歌



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

- 日蔭にも午后の日射しの廻り来て 蕤の若芽の香りただよふ 平安江 節子
- 雨上りさんしゆゆの黄の目立ち来て 吾がき庭辺も春訪づれし 伊藤 美枝
- 夜べの雪真白に刷きて 温床のガラス光れり 彼岸入り今日 安江 澄
- 八葉の蓮華の山に囲まれし 高野の山に 大師尋めゆく 安江 竜玉
- たまに出る野良の仕事は身にし 重し冬の 枯草鎌を滑りて 小池 弘子
- 馬鈴薯の種薯求めし 店頭は 苗木花苗ひしめき並ぶ 今井 かな
- 冬枯の道べに 匂ふ白梅の 咲き澄む姿に 陽は差し及ぶ 田口 一枝
- 進む春押ふごとく 寒き風黄砂を 連れて早くも来たる 伊藤 重雄
- 肉親の望みも消えし 孤児達の 背に射す春日竹しく 三戸 きり
- やわらかき春の日差しに 咲く花の 庭の紅梅匂ひ立ちつつ 古田五保子
- 露の葱苞の 緑きが 枯草の中に 夕焼をくまなく浴ぶる 古田よし江
- 春講のこむる 一日をコートにて 友と 励みぬ庭球たのしく 安江 守平
- みどり濃き 葱苗植ゆる 春の日の 手に伝ひ来て 土の温もり 早瀬 久子
- 絵を描きて 過せし 息子の 二十年 母親として 誇りに思ふ 安江すみよ
- わづらうて 無事なること ありがたき 沁々思ふ 冬の曇り日 今井 弘忠
- 久々に 病快ければ 朝風呂に 浸りて 遠き 雉の 声聴く 早瀬 勇造
- 雨上り木の 芽の 匂ふ 山道に 連れを 背負ひし 藪に 出会ひぬ 安江 香
- 週休二日われに 縁なし 百姓は 働き 過ぎても 尚足らざれば 安江 幸
- 「つちのこ」も 愛嬌なれど 着実な 過疎対策に 知恵し ぼらうぜ 山川 冽
- 反り弾む軌條の上に 加速する 世紀末 列車の 無事を ぞ祈る 田口 良三

消費は美德という好景気時代は何時まで続くか―百姓は?